



第2回上田八木・金融政策サーベイ(2016年3月)の結果について

～3月の緩和予想は10%(前回16%)、しかし金利先安観は上昇

発表日:2016年3月11日(金)

上田八木短資株式会社

【調査の概要】

| | |
|------|---|
| 調査方法 | 弊社と市場取引のある大手銀行、地方銀行、外国銀行、証券会社、保険会社など205先。 |
| 調査方法 | 日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し。 |
| 調査方法 | 2016年3月8日～10日の3日間、電話等によるヒアリングにより実施。 |
| 回答率 | 96.5 % (回答者数198先<Q1における回答者数>) |

【調査結果】

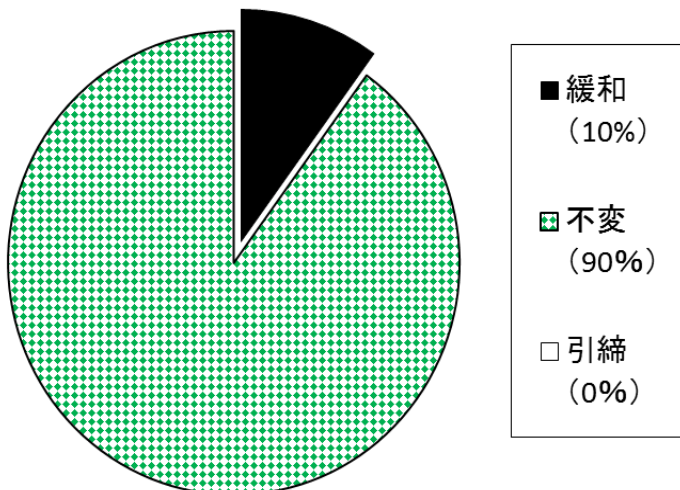
(Q1)日本銀行の次回の政策決定会合(3月14～15日)における決定について

回答者全体の90%が「不変」を予想する一方、10%が「緩和」とみている。「引締め」を予想する先はなかった。

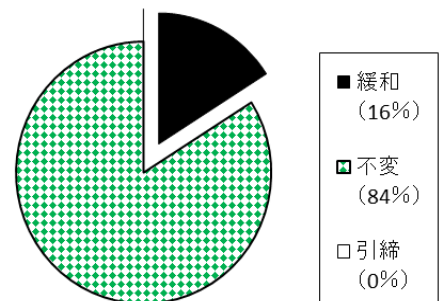
上田八木・金融政策インデックス(「引締め」-「緩和」構成比%)は、▲10と、前回対比6%ポイントの上昇。

前回(1月調査)との比較では、「緩和」とみる先が減少した一方、「不変」が増加した。

今回(2016年3月)



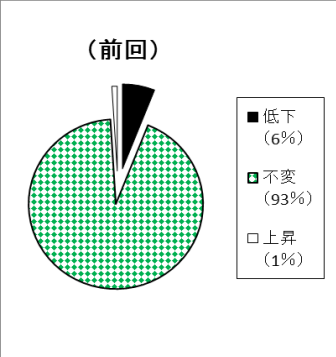
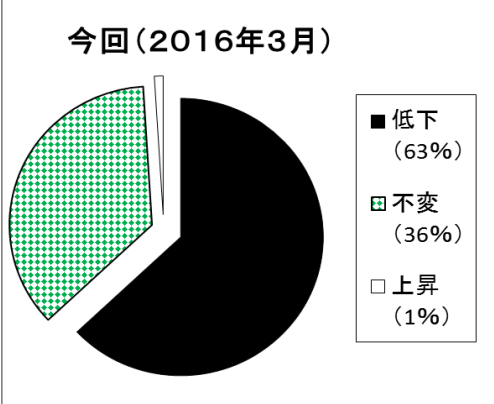
前回(2016年1月)



(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の63%が「低下」を予想。「不変」の先は36%、「上昇」とみている先は1%であった。

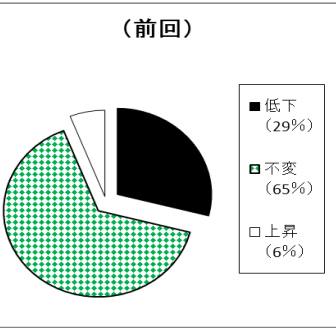
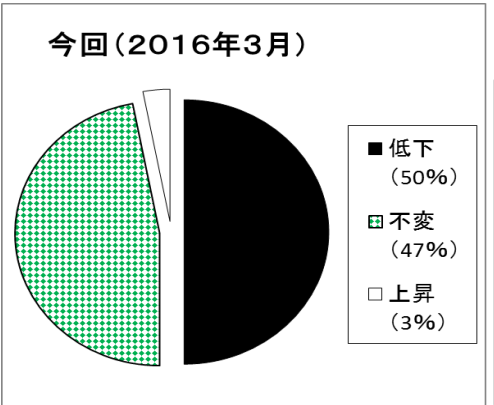
前回(1月調査)との比較では、前回の金融政策決定会合を受けて、「低下」とみる先が大幅に増加する一方、「不変」とみる先が大きく減少した。



(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の50%が「低下」を予想。47%が「不変」とみている。「上昇」を予想した先は3%であった。

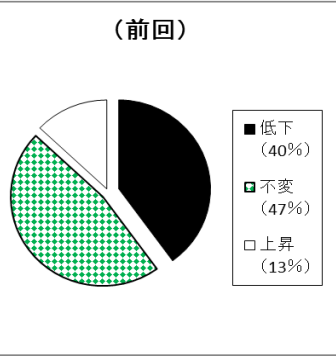
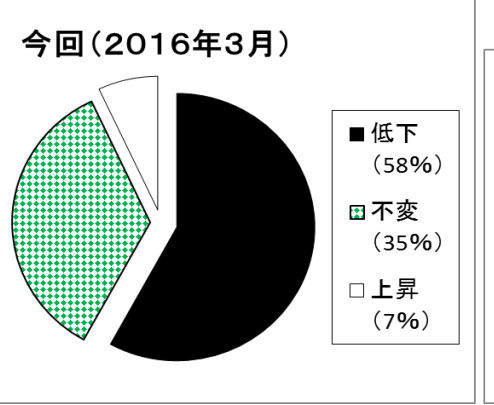
前回(1月調査)との比較では、「低下」とみる先が21%増加した一方、「不変」とみる先が18%減少、「上昇」とみる先も3%減少した。



(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の58%が「低下」を予想。35%が「不変」とみている。なお、「上昇」を予想した先は7%であった。

前回(1月調査)との比較では、「低下」とみる先が18%増加した一方、「不変」とみる先は12%減少、「上昇」とみる先も6%減少した。



【本調査に関する照会先】
企画部 島本、酒井 (電話 03-3272-0293)